

桂川っ子



「可能性に期待」

桂川町教育委員会

教育長 佐谷 千香子

絶好のスポーツ日和となった5月25日、桂川中学校の体育会が盛大に開催されました。力強い選手宣誓の後、いよいよ競技開始となりました。規律ある行動と真剣な演技が展開。若さと若さがぶつかり、力と力のしのぎ合いに、思わず手に汗を握りました。

朝早くから練習を重ね、心一つにして頑張った各競技には、優秀には関係なく惜しめない拍手を送りました。ましてやご家族の方は、成長した我が子の姿を見て、どんなに感動されたことでしょう。

子どもから大人へと大きく成長する中学生時代。やがて社会の試練も待ち受けています。若さと可能性を秘めたこの大切な時期に、大人が真剣に子どもたちに立ち向かえば、子

どもも真剣に受け止めてくれるのではないのでしょうか。

善悪の判断のできる子、人に迷惑をかけない子、要するにけじめのある子が育ちます。

幼ければ幼いほど、若い芽はどんな方向にでも伸びます。また、よい芽が育ちます。どうぞ、ご家庭でも地域でも、愛情と一緒に、子どもたちに良い肥料を大いに与えてください。そして、若い芽を大きく宇宙へ葉を伸ばせる大木に育てましょう。

結びに体育会・閉会式での生徒会長の言葉を要約して紹介します。

『3年生は最後の体育会でしたが、殆どの人が悔いを残さず頑張れたと思います。1・2年生で頑張れなかった人は、また来年があります。体育会をスタートにして日頃の生活や勉強、また部活に頑張っていきましょう。』

「夏休みは、絶好の機会」

桂川小学校校長 本田 義隆

一、絶好の機会とは

夏休みは、学校での学習が進むことはありません。

学習が進まないということは、新しい内容を学ぶことがない時期だということなのです。

つまり、今までやってきた学習を振り返り、得意なことをさらに伸ばし、不得意なところを克服できる機会でもあるのです。

絶好の機会とは、今までやってきて、もう少しがんばったらいいなと思うことに集中的に取り組めるといふことです。

克服体験です。

できなかったことができるようになることも素敵な時間が子どもたちに与えられていることを大切にしてほしいと思います。

二、できた体験を

学習は、やればやるほど正比例のグラフのように一直線に伸びていくものではありません。

学習は、器に水を少しずつため、あふれだしたときに器がひとまわり



▲ 一学期終業式で夏休みへ向けての話をする桂川小学校 本田校長先生

大きくなることの繰り返しだと考えています。

器に水をためているとき、これを努力とか継続というのだと考えます。だから、あきらめ、途中でやめることが、どれだけ残念なことかわかります。

夏休みは、器に水をためることを体験できます。器から水があふれることを体験できます。

克服体験を一度いや数度、体験させたいものです。できた体験の夏休みに！

